

令和6年度「個別施設に関する意見交換会」意見・質問一覧表

●概 要

開催日	開催場所	対象施設名	参加者数
令和6年5月29日（水）	堀内会館	堀内会館	29名

●意見等一覧表

項 番	意見・質問	内 容	回 答
1	過去の管理問題について	過去の管理問題がクリアにならないと再整備は行えないと思う。	行政として関与できるのは堀内会館運営委員会の現代表から状況を聞き取ることであり、その後は民と民の問題であると認識している。堀内会館の老朽化が進んでおり、町が責任を持って再整備することを並行して進めていく必要がある。
2		過去の管理問題が残ったままでは前に進めない。再建に向けて堀内会館運営委員会の現代表と協議の場を設けては。正しい管理者を決めるべき。	法的な側面も含めて、過去の問題が認められるものではないと結論が出るのであれば、行政として整備はしないといったことを検討することになるが、この問題を乗り越え、地域や議会の意見を聞きながら一緒に進めたいと考えている。また、現在まで、堀内会館運営委員会が日頃から管理してくれていることもご理解いただきたい。
3		過去の管理問題については、町が間に入らないほうがよいのではないか。	町が介入しない選択肢もあるが、町が関与し問題を解決したいと考えている。
4		将来的な維持管理費について検討し、過去の話をきちんと整理しないとしなければならない。町内会全体として考えるべき。	貴重なご意見として参考にさせていただく。
5	既存施設の建替・取壊し	建替や取壊しに係る費用の財源は。	主に町税を財源とする予定。
6		建替や取壊しに税金を使うのであれば、一部の住民への説明だけでは足りないのではないか。住民、町内会、議会の意見を聞きながら進めるべき。	どのような建物がよいか検討委員会を立ち上げ、意見を伺いながら慎重に進めたい。
7	再整備に係る財源等	町税を使って、一部の人たちのために1億円や2億円の税金を使って整備することは了承できない。	本日は再建することの是非を決める場ではなく、再整備に向けた意見を伺う場にしたい。
8		葉山港の指定管理や土地開発の問題がクリアになっていない中で、堀内会館の再整備に税金を使うのはあまりにリスクがあるのではないか。町制100周年だからと言ってやらなければいけないのではなく、皆が納得できるプロセスで進ませないと将来的に破綻すると思う。	貴重なご意見として参考にさせていただく。

項 番	意見・質問	内 容	回 答
9	将来の維持管理	維持管理を地域で行うことになる負担が大きい。	民間による運用も検討し、地域に根ざす会館を整備したい。
10		再整備後の堀内会館は、町が管理することになるのか。	町直営で管理するのか、町内会が管理するのか様々な方法がある。管理方法は決定しているわけではなく、検討会の中で検討したい。
11	再整備後の堀内会館に関する意見等	皆さんの癒しの場所になるような、池があり、子どもが楽しめ、散歩ができるような自然がある場所に整備されることを望む。	貴重なご意見として参考にさせていただく。
12		この場所が葉山町のコミュニティのモデルケースになるとよいと思う。	
13		子ども食堂を想定して、キッチン設けるとよいと思う。	
14		福祉の観点からこのエリアを拠点にした活動を行うことができれば嬉しいと思う。	
15		津波対策を考慮すると2階建が望ましい。維持管理はこれまでのやり方だと難しいと思う。	
16		建物としては今よりもコンパクトな建物のほうがよいと思う。	
17		再整備後は小さな会議室があるとよい。諏訪町町内会は町内会館を所有しておらず、会議ができる場所が欲しい。	
18		部屋床について、畳とフローリングのどちらが良いのか検討が必要。将来の管理体制について考えることも重要である。	
19		町が旗振り役になってくれていることがありがたい。総論になるが、会館は防災と子ども、高齢者に手厚い施設になるとよい。世代間の交流ができる公園のある会館になるとよい。	
20		部屋割りとしては、広く使えるスペースが欲しい。	
21		堀内会館の使われ方のイメージについて、元町会館のような使われ方が望ましいのではないか。	行政の施設は身近にあれば便利だが、行政地理の考え方に基づいて施設を整備しており、同地域内に同じ施設を作ることは考えにくいと捉えてほしい。ただし、既存の児童館を廃止しこの敷地に新たに児童館を整備する可能性はある。現状機能の維持が検討のスタートになると思っている。

項 番	意見・質問	内 容	回 答
22	隣接する堀内児童遊園に関する意見等	堀内児童遊園で子どもを遊ばせると保護者や子どもが仲良くなるのはいいことであると思う。子どもたちのはしゃぐ声が聞こえると嬉しくなる。貴重な公園であると感じている。	貴重なご意見として参考にさせていただく。
23		子育てしていく中で海や山があるのはよいが身近な公園が少なかったので、住宅地の間にあるこの場所は安心できる。シニア世代の方が安心して若い世代を温かく見守ることができる場にもなると思う。	
24		桜の木はできるだけ残してほしい声がある。	検討委員会の中で検討していきたい。
25	会館と公園の一体利用	前回の意見交換会では、公園との一体利用について説明があったが、どういったレベルの再整備にする予定か知りたい。	前回の意見交換会后、一体的利用について様々なパターンを町で検討しているところであり、検討委員会ではパターンごとに議論をしていきたい。
26	減免制度	時間貸しによる減免制度は導入できるのか。	既存の公共施設に関しても、文化協会やスポーツ協会などに登録のある団体には減免措置があるので同様の制度は利用できる可能性がある。
27	老朽化状況の調査	町は建物の老朽化状況を把握できているのか。	町として詳細は把握できていない。現在は町の所有物でないので調査はできない。
28	再整備の手法	修繕やリノベーションは検討せずに建替え一択で考えているのか。	財政負担は大きいですが、公園と一体利用を図り、利便性を向上させたい。一方で、リノベーションの考え方も検討できる。なるべく町の財源を使わずに整備できる方法があれば検討したい。
29	PFIの活用や協議会の設置	内閣府がPFIの活用を示しており参考になると思う。様々なパターンがあるが、協議会を作り検討していくのが望ましい。行政からそういった情報を公開してもらいたい。	貴重なご意見として参考にさせていただく。
30	建物の減価償却	木の下会館の運営は赤字の状態。なかなか借り手がおらず光熱費も高くなっている。堀内会館については再整備に期待する一方、減価償却に何年かかるのだろうと不安があり心配な面もある。	
31	再整備の緊急性	規模の大きい集会所が少ないので堀内会館は貴重な施設となる。今から再整備を検討していくべき。防災の集合場所に指定しているが、現在の堀内会館は耐震工事も実施されておらず、震災が起きたら倒壊してしまう。先のことを考えて今から検討を進めていきたいと思う。	